# これ以上負担割合を上げないでください

敬老カード

敬老パスを守る連絡会は25日、市議会に「『敬老優待乗車証』の負担増に反対する陳情書」を提出しました。

要旨は「利用上限引き上げによる、利用者負担割合を上げないでください」と、現行の最高負担割合20%以上に上げないでほしいという要請です。この日は敬老パス連絡会のほか地区労連、新婦人札幌協議会、道生連など11の団体陳情を提出しました。

提出に先立って、議会各会派へ「福祉灯油実施を」の陳情と共に要請してまわりました。

また、市役所前での福祉灯油実施の宣伝と共に、竹中代表が「利用額を上げるが、負担も上げるというやり方は高齢者に優しくない」と訴えました。

陳情書を提出する竹中九仁男代表ら

# 市議会でも批判－市の案は“出直し”

11/21の市議会厚生委員会では、11/27からの定例市議会に敬老カードの補正予算案を出すため、改めて利用上限額と利用者負担についての説明がされました。

ところが提案は10/3の提案のまま（下表）で、説明も14日に行った市の説明会で行ったアンケートを示しただけという、お粗末なものでした。

これに対し、10月の議会で提案を批判した自民・公明・共産の各党から異論が出されました。自民党は「20%のままでできないか」、公明党は「上げ幅を圧縮すべき」、共産党は「少なくとも今の20%上限を上げるべきではない」という主張を変えていないため、市側は今まで何を検討したのかということになりました。

「前回市の提案の手直しを要求したのに、市は議会側と歩み寄るつもりはないのか」ときびしく追及され、「引下げを含めて再度検討する」と、持ち帰る結果となりました。

これはやはり世論の影響であり、市はたった1回の説明会でお茶を濁すようなことをせず、もっと利用者の意見を聞くべきでしょう。

敬老パスの陳情は、今のところ12月9日に議会で取り上げられる予定です。

12月8日に議会へ陳情書を追加提出しますので、団体陳情書をぜひお寄せください。

連絡会－事務局札幌社保協までお願いします。直接市議会出しても結構です。

| 利用額 | 負担率 | 納入金 | 負担額の差額 |
|---|---|---|---|
| 6万円 | 23% | 13，800円 | 3，800円 |
| 7万円 | 25% | 17，500円 | 3，700円 |

市の提案への意見　11/14説明会アンケート

| 区　分 | 人　数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 高い | 28人 | 47．4% |
| ちょうどいい | 22人 | 37．3% |
| 安い | 0人 | 0% |
| その他 | 2人 | 3．4% |
| 無回答 | 7人 | 11．9% |
| 計 | 59人 | 100．0% |

市は11/14の説明会で「これで説明会は終わりではない」と言いながら、そこでの59人のアンケートのみを基に議会へ説明をしました。

市提案の額・割合が「高い」という意見が一番多いにもかかわらず、一定の理解を得られたとして、10/3の提案をそのまま議会へ出してきたのです。

これは大変おかしい。もっと意見を聞くべきです。


Fax通信　08年１１月２６日

札幌敬老パスを守る連絡会

白石区菊水3条3丁目　井上ビル
札幌社保協気付　TEL　８２３－０８６７
Fax　８２１－３７０１